

ヴォリュームアキュライザーの導入 (20)
—PX25 シングルアンプへの適用—

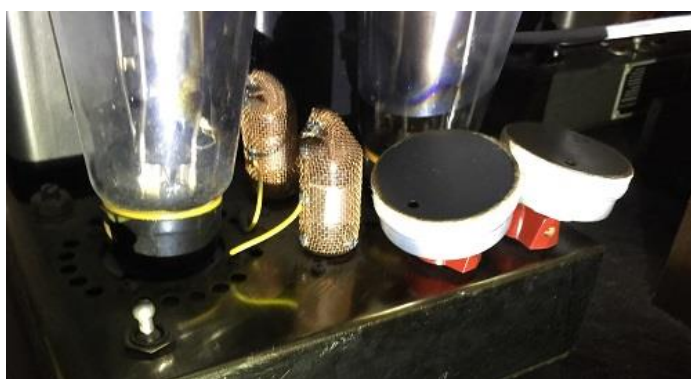
1. 始めに

今回は、TANNOY Autograph MINI を駆動する PX25 シングルアンプのヴォリュームに適用してみます。

2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

TANNOY Autograph MINI を駆動する PX25 シングルアンプのヴォリュームに VRA-7 を貼り、アナログ音源で試聴していきます。

PX25 のヴォリュームは、写真のようにつまみ状のもので、VRA-7 との接着面積は小さいものです。



TANNOY Autograph MINI の最近の状況は下記で報告しています。

[サブシステムの再構成\(8\)](#)

[LINN LP-12 の再構成\(28\)](#)

音源は前報(9)で使用したアナログ盤を使用します。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子
アンセルメ指揮スイスロマン
ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020
J.S.Bach チェンバロ協奏曲
トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート
harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H
ミトマニア
ベーレン・ゲスリン
キングレコード SKA-104
愛と自然の歌
倍賞千恵子

3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴結果

ZANDEN Model 120 の設定はこれまでの経験を元に選定しています。

このシステムの音は、PX25 という茄子管のオールドファッションのアンプですが、意外にフレッシュな鳴り方としています。反面、Autograph MINI はコンパクトなキャビネットを積極的に鳴らす設計であり、音域によってはこもったような音がすることもあります。

このつまみ状のヴォリュームに VRA-7 を貼るわけですが、ヴォリューム間の距離が近く、VRA-7 の中央に貼ることができず、両面接着テープを VRA-7 の端の方に貼ってヴォリュームに押し付けます。

このような変則的な VRA-7 の貼り方ですが、三角帽子では、音のこもりが減り、打楽器などの立ち上がりがよくなります。

チェンバロ協奏曲は、音のこもりが減り、古楽アンサンブルの分離がよくなると同時に、チェンバロの繊細な表情も向上します。

ミトマニアは、音のこもりが解消し、抜けがよくなります。男女のボーカルに張りがでて、バックの古楽器の質感がリアルになります。

倍賞千恵子は、声のニュアンスが向上し、音場感が明瞭になります。試みに VRA-7 を剥がすと、声の肌理が粗くなり、全体がぼやけ気味になります。

以上、変則的な VRA-7 の貼り方ですが、大きな音質変化があり、貼り方の工夫をするか、ヴォリュームノブの形状変更が望まれます。

4. まとめ

TANNOY Autograph MINIJ を駆動する PX25 シングルアンプのヴォリュームへの VRA-7 の適用は、変則的な貼り方ですが、大きな音質変化がありました。

以上